



定例オンラインセミナー講演会No.59

教科教育を謳う 2:表記

2020 12.11 (金)

18:00-19:30

オンライン会議 Zoomを使用します

歴史的に度重なる情報技術等の高度化によって、知識や技能の意味は問い返されている。たとえば専門家集団による所有からいつでもアクセスできる共有知へというように。このとき、個々人は知識や技能の享受者であると同時に共同編集者になる。「能力ベースの教育課程」の背景にこのような知識や技能観のシフトがあることを鑑みれば、教科教育は既に多様、多彩、学際的に進める時代に入っている。そこで本セミナーは「教科教育を謳う」と銘打って、言語・表記・インクルーシオンの各領域から、知識や技能重視に陥りがちな教科教育における、現代的なカリキュラムを構想する糸口を得る。

今回はその第二回であり、教室内のリソースやメディアの表記に注目する。

● スケジュール

問題提起，テーマ設定，ガイド：主催者（影山）
数学科学習に象徴的・典型的な表記の提示
関係者間トーク
フロアとの共同

● **主催** 基盤研究(B)「教室での知識の創出と進化を促す学習作業空間の構成に関する総合的研究」（代表：影山和也）

● **共催** 広島大学教育ビジョン研究センター（EVRI）

● お問い合わせ



お申し込み後にオンライン会議に必要な情報をご連絡いたします

【お問い合わせ先】 Tel & Fax : 082-424-5265

Email : evri-info@hiroshimauac.jp

◀ QRコード等からお申し込みいただけます